

小学校教科担任制

研究テーマ

～ICTを効果的に活用し、考えを広め、深める授業づくり～

坂町立横浜小学校

教科担任制推進教員の担当教科

- ▶ 第4学年：理科
- ▶ 第5・6学年：理科、体育科

▶ 研究テーマ

▶ 授業の実際

▶ 成果と課題

▶ まとめ

研究テーマ

～ICTを効果的に活用し、考えを広め、深める授業づくり～

子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）において、①発表や話し合い、②協働での意見整理、③協働制作、④学校の壁を越えた学習、等 **ICT** を効果的に活用することで、自己の考えを広め深める授業

このテーマをもとに、授業を展開していく。

授業の実際

日 時 令和5年 12月6日(水)
学 年 第5学年 男子14名 女子11名
単元名 A 物質・エネルギー「物のとけ方」

5年生「物のとけ方」

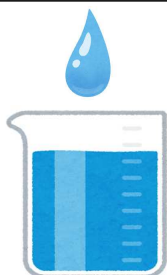
【本時の目標】

食塩とミョウバンの実験結果を基に、物の溶け方のきまりについて考え、水の量や温度を変えた時の物の溶け方の規則性について捉えることができる。

問題

水よう液にとけ残った物をとくすにはどうしたらよいのだろうか

水の量を増やす



水の温度を上げる



～考察の場面において～

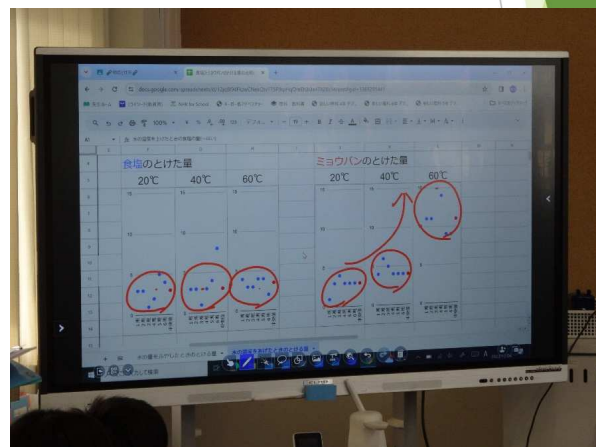
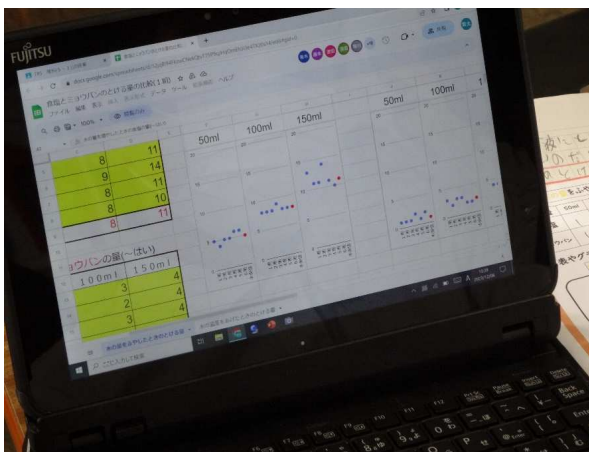
グーグルのスプレッドシートを用いて、実験の結果を自動的にグラフ化する



成果

グラフをその場で作成することで、グラフ作成の時間短縮になるとともに、全員が一斉に見ることによって、情報を容易に共有することができた。

電子黒板に映し出したグラフにグラフの動きを書き込むことで溶けた量の変化を視覚的に分かりやすくすることができた。



課題

児童が考察を書く際に、ワークシートを使って記入させたが、書くことに時間がかかりすぎた。

各班で考察を考える過程では意見を交流し、共有することができたが、全体で意見を深めることには課題が残った。



まとめ

- ▶ ICTを活用し、実験の結果をグラフに即座に表したことで、視覚的にデータを捉えることができ、班での話合いが活発にできた。班で協力しながら考察をし、考えを共有することができた。
- ▶ 今回は考察を書く際、紙のワークシートを用いた。そのため、多くの時間がかかった。データに直接気付きを書き込む等の活動も今後取り入れていく。
- ▶ ICTを活用し、意見の共有を行うことで、発表に頼らなくても多様な考えを交流することができると分かった。